



Governor's Monthly Letter

MASAO FUJIWARA

2-9, 3-CHOME, KOGAN-DORI
SUWA, NAGANO, JAPAN 〒392

藤原正男

国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所
〒392 諏訪市湖岸通り3丁目2-9
TEL (02665) 8-3609

『奉 仕』

ロータリーを私は信奉する。

“SERVICE”

I BELIEVE IN ROTARY

R. I. 会長 ロバート A. マンチェスター II

No. 14 JULY 15, 1977

ガバナー月信 第14号 昭和52年7月15日

才360地区ロータリークラブ

会長・幹事殿

ガバナー 藤原正男

一年間ありがとうございました

この一年、ほんとうにありがとうございました。

皆さまと一緒に我らの年度を背負って、不馴れの中にも大きな希望を抱いてスタートいたしました。過ぎてみればあつという間の一年でございました。

会長・幹事の皆さまがたには、年間50余回のクラブ例会をはじめ、クラブ運営に努力献身され、個性豊かなクラブ活動と立派な成果を残されましたことは、ご苦労の中にも大きな喜びであったことと心から敬意を表します。

マンチェスターII直前会長の主張——「ロータリーは奉仕団体であり、奉仕の中でも職業奉仕が本通りである」というロータリーの原点の確認。さらに「現在、世界的規模で進行している物心両面の荒廃と汚染に対し、80万ロータリアンが奉仕の理想をもって挑戦しよう」また「ロータリーの源泉——職業奉仕が、家庭、職場、地域社会をうるおし、更に世界社会奉仕を通じて、世界の全ての人々の健康と尊厳と心の自由の確保に役立つようにしよう」という主張は、地区全体、各ロー

タリアンによく理解された一年間でありました。特に公式訪問では、「職業に根ざしたロータリー」ということを中心にしてお話を申しあげたのですが、絶大な共鳴をいただくと共に、各クラブ独自の新鮮なアイデア、手法によって肉づけされ推進された活動状況は、マンチェスターII会長とクラブメンバーがあたかも一体化されているようで、私にとっては非常に大きな感激でした。

かえりみますと、3月から4月にかけて第534地区から、ダグ・クレメント団長以下好青年6名の研究グループ交換チームを迎えましたが、地区をあげての歓迎の中で、勉強と親善使節の役割を十分に果して帰国されました。昨年、当地区より折井正達団長以下6名のチームがお世話になってきた返礼が、充分できましたことを嬉しく思っております。

またこの一年間、皆さまのご尽力によりまして、次のような進展がみられました。会員数、年頭初4,609名、年度末4,746名、純増137名、増強率2.97%。ポール・ハリスフェロー誕生128名、準ポール・ハリスフェローの現在

員 471名。昭和52年5月末現在のロータリー財団寄与率は、5,000%台——1、4,000%台——2、3,000%台——3、2,000%台——18、1,000%台——36、1,000%以下——14クラブへと進展いたしましたのであります。年度初めに急きょ担当委員会の設置をご依頼申しあげました米山奨学金は、21クラブ及び25名のロータリアンのご好意により429万円の寄付額に達することができました。

次に各クラブ独特の奉仕が光彩を放つ中で、稲沢クラブは職業と日本人墓地の因縁を通じて、オーストラリア・カウラクラブと姉妹の縁組をして、意義ある業績賞を獲得され、また安城クラブは安城学園附属高校インターアクトクラブを結成されました。

地区役員の方々にも格別のご活躍を頂きました。

諮問委員会は10回にわたって会合を開き、私の病気をカバーくだされ、地区運営に齟齬をきたさないように最高の配慮をはらっていただきました。

分区代理の方々には、各クラブへの奉仕にご尽力賜り、特に I G F の開催には格別な工夫をこらしていただき、大きな収穫をあげることができました。

新発足の職業奉仕委員会は、「職業奉仕は奉仕の本通り」を徹底し具体化するために、職業

奉仕委員長会を開き、加えて画期的な陶磁器業界による職業会議を開催して、今後の活動のあり方に大きな示唆を与えて下さいました。ロータリー財団学生の募集、選考、推薦、学友会の指導、財団支援の推進、研究グループ交換の受入れなどにお骨折りいただいたロータリー財団委員会、青少年の海外派遣、受入れ、インターアクト、ローターアクトクラブの結成や指導並びにインターアクトメンバーの第555地区派遣にご尽力いただいた青少年奉仕委員会をはじめとして、各委員会の真摯な奉仕活動に深く感謝申しあげる次第であります。

新年度のジャック・デービス新会長は「全人類を結びつけるために奉仕せよ」それに昨年に引続いて「万人のために健康と尊厳と考え方の自由とを確保すべく行動しよう」と強調され、森ガバナーは「今こそ友情を」をロータリーの原点として、新年度事業の第一歩を踏み出されました。新ガバナーのご指導のもと、各クラブにおかれましては、友情と奉仕を結集して立派な年度を築きあげられますよう心から祈念申し上げます。

在任中私にお与え下さいましたご厚情に感謝し、森ガバナーはじめ皆さまがたのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、退任の挨拶といたします。

第10回地区諮問委員会開催

日 時 昭和52年6月25日③16:00～17:00

場 所 都 ホ テ ル 橘の間

出席者 バストガバナー 神 野 太 郎

近 藤 友右衛門

滝 沢 卓 夫

佐 藤 知 雄

安 野 譲 次

原 享 二

鮎 谷 賢太郎

山 田 市三郎

ガバナーエレクト 森 泰 樹

次期地区幹事 高 沢 隆

地 区 幹 事 三 井 章 義

議 題 1. ロータリー財団功労者の推薦について

2. ロータリー財団に対する意見書について

3. 地区管理規定について

4. G S Eチーム受入れについて

5. そ の 他

安城RCにインターアクト誕生



安城RCに於ては一年前よりインターアクトの結成を進めておりましたが、77年6月4日無事結成式を挙行了しました。対象学校は当地の伝統ある安城学園附属女子高等学校で、バスケットボール、ソフトボールでは天下に有名です。当日は山田市三郎バストガバナー、佐藤知雄地区青少年委員長、鈴木武二同副委員長、渡辺末次郎地区インターアクト委員長の列席のもと、R I 本部証明書の伝達、ホストクラブよりの寄贈品の贈呈があり、クラブ会長の誓のあいさつロータリーソング、校歌の斉唱の中に簡素ながら感激に満ちた式典を終りました。新クラブは一年生の新加入を得て26名の会員で既に奉任活動を自発的に行っております。

安城RCインターアクト委員長

都 築 勇 夫



地区協議会開催

1977年度地区協議会は、6月26日㊤津島ロータリークラブをホストとして名古屋市の愛知県中小企業センター及び都ホテルに於て開催されました。当日は梅雨の晴れ間の好天に恵まれ、地区内74の全クラブから703名の多数のロータリアンが参加され、和やかなうちにも終始熱心に協議が行われました。

地区協議会に先立ち、25日㊤午後2時より都ホテルに於て分科会リーダー会議、地区諮問委員会が行われ、引き続きリーダー、アシスタントリーダー、アドバイザー、オブザーバーによる前夜懇談会、更に6時から特別出席者と実行委員長ほかホストクラブ役員の方々による懇親夕食会が催され、山田直前ガバナーのご挨拶に続き森ガバナーエレクト、安野バストガバナーから国際協議会、国際大会の模様についてユーモアあふれるお話があり、和やかな楽しい雰囲気の中に前夜の行事を終了いたしました。地区協議会は中小企業センターにおいて、本会議が午前9時30分点鐘で開会され、国歌斉唱、ロータリーソングに引き続き山田直前ガバナーの歓迎の辞と藤原ガバナーの挨拶及び地区の年間報告があり、さらに森ガバナーエレクトからジャック・デービスRI会長のメッセージを中心に感銘深いお話がありました。

全人類を結びつけるために奉仕せよ——のターゲットについても詳しいお話をいただきました。午前10時50分から8つの分科会にわかれ、昼食をはさんで午後2時30分まで熱心に協議が行われました。

午後の本会議は2時50分から再開され、ガバナー、ガバナーエレクトの挨拶があり、新会長をはじめ参加者全員が有意義な協議を終了した満足感と新年度に対する決意を胸に、午後3時30分散会いたしました。



なお、来年度の地区協議会は愛知県瀬戸ロータリークラブにホストをお願いすることになりました。大変なことです、どうぞよろしくお願いいたします。

本年の協議会はホストの津島クラブさんが、鈴木実行委員長、伊藤会長、中野幹事さんを中心に、全会員の一致協力のもとに、一年以上の永きにわたり周到な計画と熱心な準備をされ、献身的な奉仕をして頂きましたので、実に立派な会議をもつことができ、また大成功を収めることができました。津島クラブの全会員の皆様に対し衷心より厚くお礼申し上げます。

第360区(260)青少年交換の現況について

1. 1976年—77年(1ケ年)交換学生として派遣中の学生諸君は1977年7月31日15時30分東京国際空港(羽田)着、JL002便で帰国します。
2. 1976年—77年(1ケ年)交換学生として滞在中の学生諸君は1977年7月14日21時00分東京国際空港(羽田)発P A 830便で帰国の途につきます。
3. オーストラリア地区との交換について、現在2名が日本に滞在中で、2名がD. 263、オーストラリアクィーンランド地区、Brisbane周辺に派遣されています。
4. 1977年8月—78年7月(1ケ年)交換学生9名は、8月16日、東京国際空港発、アメリカ カナダの各地区へ派遣されます。
5. 1977年8月—78年7月(1ケ年)交換学生9名は8月21日来日の予定です。

1977年—78年の交換は、従来の交換地区に加え、新しくマツチド地区となった555地区、561地区との交換をする事になりました。

555地区とは3名、561地区とは1名、計4名が増加しました。

1976～77年度 第360地区主要行事

1976

7. 1 パストガバナー・ガバナー懇談会(東京)
7. 2 ガバナー連絡会
「ロータリーの友」新旧合同委員会(東京)
7. 7 新旧分区代理会議、第1回分区代理会議
7. 8 第1回地区諮問委員会、新旧委員長会議
- 7.10 青少年奉仕委員会
- 7.20 第4回地区大会企画委員会
- 7.21 第2回地区諮問委員会、地区資金委員会(決算委員会)職業奉仕委員会
- 7.24 研究グループ交換委員会
- 7.26 第13回インターアクトクラブ協議会(松本)
インターアクト委員会
三河第一分区社会奉仕委員長会
- 8.21 第3回地区諮問委員会
- 8.25 インターアクト委員会
- 8.26 職業会議(尾張地区)
- 8.28 クラブ奉仕・会員増強・職業分類・拡大・合同委員会
- 9.18 第4回地区諮問委員会、第2回分区代理会議
- 9.19 ロータリー情報研究会(松本)
- 9.24 職業会議(三河地区)
- 9.30 マンチェスター会長来日歓迎会(東京)
10. 6 職業会議(長野地区)
- 10.11 第5回地区大会企画委員会
- 10.17 尾張第2分区新会員研修会
- 10.20 ガバナー連絡会
- 10.25 第5回地区諮問委員会
- 10.29 地区大会グループ討論会(蒲郡)
R I 会長代理歓迎晩餐会(蒲郡)
- 10.30 R I 第360地区年次大会第1日(蒲郡)
世界親睦委員会
- 10.31 R I 第360地区年次大会第2日(蒲郡)
11. 5 青少年交換委員会交換学生選考会
11. 7 三河第2分区国際奉仕委員長研究会

11.12 インターアクト委員会

11.13 ロータリーアクトクラブ研修会

11.16 第3回分区代理会議

11.20 研究グループ交換委員会

11.27 意義ある業績賞委員会

12. 7 第6回地区諮問委員会

1977

1.13 ロータリー財団学生と学友の集い

1.22 第7回地区諮問委員会

2. 9 第5回国際ロータリー研究会第1日(鴨川)

2.10 第5回国際ロータリー研究会第2日(鴨川)

2.12 インターアクト委員会

2.19 1977～78年度地区大会第1回企画委員会

2.20 三河第2分区 I G F (刈谷)

2.27 南信第1分区 I G F (岡谷)

3. 5 第8回地区諮問委員会

3.-6 尾張第2分区 I G F (稲沢)

3.13 東北信分区 I G F (軽井沢)

3.21 尾張第1分区 I G F (名古屋)

3.22 地区指名委員会

3.23 米山奨学会選考委員会

4. 3 三河第1分区 I G F (豊橋)

4. 4 第9回地区諮問委員会

4.13 次期会長幹事会(愛知県)

4.17 ロータリー財団奨学生選考委員会

4.24 南信第2分区 I G F (飯島)

4.27 次期会長幹事会(長野県)

5. 7 第2回地区大会企画委員会

5.19 第1回陶磁器職業会議(常滑)

ロータリー財団奨学生「壮行の集い」

6. 4 安城学園附属高校インターアクトクラブ結成大会

6.25 第10回地区諮問委員会

地区協議会前夜懇談会及び懇親夕食会(名古屋)

6.26 R I 第360地区協議会(名古屋)

6. 1977年夏期短期交換は(1977年7月15日—9月5日)4名がD.667、オハイオ州デイトン市周辺へ派遣されます。＊これらの交換のリストは以下の通りです。

D 360 青少年交換学生現況

1977年6月1日現在

1976年～77年(1ヶ年交換)派遣中の交換学生(1976年8月22日出発—77年7月31日帰国)

氏 名	推せん R C	交換地区	受入れ R C
1. 飯 島 百合子	丸子 R C	D 503	Auburn R.C., Wash. USA
2. 百 瀬 真 生	松本南 R C	D 552	Bernalillo R.C., New Mexico. USA
3. 浅 岡 正 玄	西 尾 R C	D 633	Port Huron R.C., Mich. USA
4. 岡 村 日登美	大 町 R C	D 539	Dillon R.C., Montana. USA
5. 大 谷 久美子	松 本 R C	D 502	Centralia R.C., Wash. USA

1976年～77年(1ヶ年交換)受入れ中の交換学生(1976年8月20日来日～77年7月14日帰国)

1. Nancy Elaine Goodship	D502	C ampbell River, B.C Canada	松本 R C
--------------------------	------	-----------------------------	--------

2. Wondy Allyn Curfman	D503	Auburn, Wash. USA	上田 R C
3. Sharon Ann Vandegrift	D539	Dillon, Montana USA	箕輪 R C
4. Clifton Ray Jone	D552	Carlsbad, NewMexico USA	松本南 R C
5. Joan J. Krantz	D633	Stratford, Ontario, Canada	西尾 R C

1977年 1月～78年 1月 オーストラリア地区よりの交換学生 (1977年 1月16日来日)

1. Mary Michell Prior	D263	Toowoomba North. RC., QLD	東海 R C
2. Jennifer Kathleen Pullen	D263	Beenleigh RC., QLD	刈谷 R C

1977年 3月～78年 3月 オーストラリア地区へ派遣中の交換学生

1. 安 藤 順 子	刈 谷 R C	D 263	Burleigh Heads R.C.,
2. 塚 田 茂	大 町 R C	D 263	Logan Springwood R.C.,

〔註〕 オーストラリア地区との交換は、D250とも実施していたが1977～78年は先方の都合により中止した。

D 360 青少年交換学生予定

1977年 8月～78年 (1 ケ年交換) 派遣予定者 (1977年 8月16日出発～78年 7月30日帰国)

氏 名	推せん R C	交換地区	受入れ R C
1. 土 屋 佳 美	松本南 R C	D 502	Colwood, B.C. Canada
2. 武 井 美 樹	上 田 R C	D 503	Anchorage, Alaska, USA
3. 有 川 直 子	上 田 R C	D 642	Loves Park, Illinois, USA
4. 高 野 弘 子	丸 子 R C	D 552	Clovis, New Mexico USA
5. 小 口 浩 美	箕 輪 R C	D 539	Helena, Montana, USA
6. 高 橋 千 晴	駒ヶ根 R C	D 555	Prince Albert, Sask., Canada
7. 高 木 珍 枝	松 本 R C	D 555	Nutana, Sask., Canada
8. 佐 藤 寿 晃	名古屋港 R C	D 555	Flin Flon, Manitoba, Canada
9. 神 谷 理 江	高 浜 R C	D 561	Aberdaen, S.Dakota, USA

1977年 8月～78年 (1 ケ年交換) 受入れ予定者 (1977年 8月21日来日～78年 7月帰国)

1. Kevin Doak	D642	Rock Island, Illinois, USA	上田 R C
2. Rhonda Fields	D552	Kesmit, Texas, USA.	丸子 R C
3. Patricia Skillman	D502	Sequim, Washington, USA.	松本南 R C
4. Mark Alan Smith	D503	Lynnwood, Washington, USA.	高浜 R C
5. Susan Marie Powers	D539	Helena, Montana, USA.	箕輪 R C
6. Donna Frances Bayda	D555	Nutana, Saskatchewan, Canada.	松本 R C
7. Melanie Allison Patricia Nelson	D555	Flin Flon, Manitoba, Canada.	名古屋港 R C
8. Colyn Crawley	D555	Eastview (Regina) Saskatchewan, Canada.	駒ヶ根 R C
9. Richard Peter Huettl	D561	Rapid City, S.Dakota, USA.	大町 R C

1977年～78年の交換は新に Matched District との交換が加わり 9 名の交換となった。

1977年夏期短期交換学生派遣予定者 (1977年 7月15日出発～9月5日帰国)

1. 加 藤 睦 美	東 海 R C	D 667	Hamilton R.C., OHIO, USA
2. 石 川 裕 子	岡 崎 R C	D 667	Greenville R.C., OHIO, USA
3. 神 谷 浩 美	高 浜 R C	D 667	New Lebanon R.C., OHIO, USA
4. 中 沢 直 子	長 野 R C	D 667	West Carrollton R.C., OHIO, USA

〔註〕 夏期短期交換は、こゝ数年派遣のみで交換は成立していない。

一方的に D667 に受入れてもらっている現状である。

お知らせ

R.I.会長及び事務総長より感謝状

この1年間皆様方のご協力により無事にガバナーの任務を終ることができましたが、終了にあたりマンチェスターⅡ会長とハリーAスチュワート事務総長から丁重なる感謝状を頂きました。

これもひとえに地区内全ロータリアンのご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

第1回陶磁器職業会議に対し

R.I.より賞賛の言葉

去る5月19日に常滑市にて行われた地区職業奉仕委員会による第1回陶磁器職業会議に対し、R.I中央事務局東半球部ポール・バーンホルト氏から次のような賞賛のお手紙を頂きました。

藤原ガバナー殿

拝啓 5月19日に行われた「陶磁器職業会議」の報告を送って頂きありがとうございます。われわれの知る限りでは、このような会議は初めてのものです。

報告によれば、この会議は、陶磁器業にかゝる人々にとって最も有益であり、また興味のあるものであることは明らかであります。会議をはじめて開くための様々な複雑なことや、会合を成功させるための困難な仕事をなしたげたことに対しお祝い申し上げます。

敬 具

ポール・バーンホルト

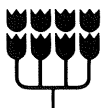
東半球部部長

R.I. D534地区ガバナー

及びGSE団長より礼状

先に来日されましたGSEチームの団長ダグラスクレメンツ君と地区ガバナー、ベンHクラーク氏より丁重なお礼状が参りました。それによると滞在中の心からなるもてなしに感謝し、GSEの目的を十分に達成して全員無事に帰国したとのことであります。

国際親善の成果をあげたことに対し、心からお礼申し上げますと共に今後も両地区の友好関係が続きますことを祈念いたします。



サンフランシスコ規定 審議会より抜すい

○77-115 出席競争に関連する大会決議29-12の一部を修正し、長期にわたる疾病又は傷害のため出席義務を果すことが實際上不可能な会員は、誰でも理事会に申請して、その状態が続いている間、出席義務の免除を受けることができ、その欠席はクラブの出席記録の計算に入れないこと、する決議案

1977年規定審議会の提案

結果：原案通り採択

○77-93 「道徳律に関する件、

インドのボンベイ・ノース・クラブ提案

結果：否決

○77-109 「最もよく奉仕する者、最もよく報いられる、という標語を廃止する件
スエーデン・カトリネホルム・クラブ提案

結果：否決

○77-47 国際ロータリーの国際大会並びに国際協議会は4月又は5月に開催されるべきことを規定する件

第357地区大会決議による提案

結果：否決

財団学生からの便り

大変にごぶさたしておりますが、その後おからの具合はいかがですか？6月4日⑤に1年ぶりに日本の土を元気なからでで踏むことができ、ロータリー財団奨学生として無事に、1年のアメリカ留学を終え懐かしい日本に帰ってまいりました。

昨年6月から8月までのあいだは南部ジョージア州で、9月以降は、首都ワシントンD.C.で勉強（法律）してまいりました。地元ロータリー・クラブの会長さんの知人宅に下宿し、毎日の自炊生活にも慣れ、勉強やロータリー関係連絡などで、随分と忙しい毎日でしたが、本当によい、かつ貴重な経験をしたと思っております。ロータリーへの理解、人々との間の理解なくしては、このような実り多い留学はできなかったであろうと思います。こういったチャンスを私に与えて下さったロータリアン1人1人に感謝の念でいっぱいです。こうした貴重な体験を自分自身の発展のためにも、また、ロータリーのためにも生かしてゆく覚悟でございます。

6月19日

落 合 俊 行

360地区 財 団 寄 付 金 一 覧 表

(52.5.30 現在)

(単位: ドル)

クラブ名	会員数 1975	本年度累計 (USドル)	寄付額累計 (USドル)	順位 %	次の順位 への 必要額	クラブ名	会員数 1975	本年度累計 (USドル)	寄付額累計 (USドル)	順位 %	次の順位 への 必要額
あ ま	63	3,624.00	15,074.09	2,300	45.91	名 古屋 東	83	413.65	23,758.38	2,900	1,141.62
安 城	60	4,358.58	10,537.88	1,700	262.12	名古屋守山	74	2,998.46	14,517.12	1,900	282.88
渥 美	45	1,500.62	3,871.44	800	178.56	名 古 屋 中	74	2,542.48	13,425.57	1,800	634.43
尾 西	42	140.00	7,197.91	1,800	782.09	名 古 屋 北	91	2,729.00	44,614.97	4,900	885.03
富 士 見	28	1,050.00	2,301.50	800	218.50	名 古 屋 南	105	2,643.57	27,373.00	2,600	977.00
蒲 郡	69	2,071.00	8,925.47	1,200	44.53	名古屋東南	71	4,909.00	17,950.65	2,500	509.35
白 馬	30	203.06	1,534.06	500	265.94	名古屋和合	57	4,045.95	9,151.86	1,600	538.14
半 田	67	1,181.66	9,010.23	1,300	369.77	名古屋西	131	3,935.11	22,207.55	1,600	62.45
碧 南	70	2,432.33	14,135.92	2,000	564.08	中 野	41	1,345.37	3,502.13	800	187.87
東 知 多	44	651.85	4,908.16	1,100	371.84	西 春 日 井	38	3,103.57	4,644.89	1,200	295.11
一 宮 北	84	2,495.28	13,863.01	1,600	416.99	西 尾	67	2,189.00	10,487.64	1,500	232.36
一 宮 南	70	1,778.50	9,481.73	1,300	318.27	岡 谷	55	1,476.65	12,549.34	2,200	100.66
飯 田 田	70	673.07	14,743.01	2,100	656.99	岡 崎	75	5,072.98	33,762.52	4,500	737.48
飯 田 南	60	3,962.42	10,131.98	1,600	68.02	岡 崎 東	42	2,287.00	8,554.93	2,000	265.07
飯 島	31	979.24	8,705.38	2,800	284.62	岡 崎 南	60	3,937.07	16,442.10	2,700	357.90
伊 那	67		12,295.37	1,900	1,104.63	奥 三 河	37	1,077.07	4,345.26	1,100	94.74
稲 沢	54	552.00	6,274.15	1,100	205.85	大 町	62	1,276.59	4,102.02	600	237.98
犬 山	65	1,589.40	11,485.09	1,700	214.91	尾 張 旭	42	2,124.64	8,434.45	2,000	385.55
一 色	48		5,312.94	1,200	927.06	名 古 屋 港	104	14,211.00	38,613.40	3,700	906.60
刈 谷	69	666.60	11,094.58	1,600	635.42	瀬 戸	70	1,167.73	12,427.12	1,700	172.88
軽 井 沢	38	1,095.00	6,131.28	1,600	328.72	新 城	44	4,512.00	8,687.99	1,900	112.01
春 日 井	73	5,172.60	13,147.18	1,800	722.82	諏 訪	52	7,075.00	11,364.93	2,100	75.07
木 曾	43	1,083.00	6,953.89	1,600	356.11	田 原	47	3,506.00	7,288.00	1,500	232.00
駒 ケ 根	64	8,000.00	33,131.30	5,100	148.70	高 浜	42	778.02	3,642.35	800	137.65
小 牧	54	2,502.54	9,684.41	1,700	35.59	辰 野	44		5,278.22	1,500	1,761.78
小 諸	48	61.00	17,616.41	3,600	143.59	戸 倉 上 山 田	33	104.33	1,181.84	300	138.16
江 南	54	1,896.70	7,880.47	1,400	219.53	東 海	44	203.99	3,024.69	600	55.31
丸 子	35	72.00	1,777.73	500	322.27	常 滑	50	298.98	8,364.69	1,600	135.31
松 川	35	36.00	3,291.39	900	208.61	豊 橋	105	1,193.77	32,589.15	3,100	1,010.85
松 本	74	4,868.50	18,134.08	2,400	365.92	豊 橋 北	92	2,942.00	21,220.41	2,300	859.59
松 本 南	78	2,918.18	16,653.72	2,100	506.28	豊 橋 南	54	1,016.00	10,019.24	1,800	240.76
松 本 西 南	39	1,518.88	7,036.33	1,800	373.67	豊 川	62	1,445.00	8,680.12	1,400	619.88
南 佐 久	25		165.55		84.45	豊 田	87	3,848.15	16,908.26	1,900	491.74
箕 輪	25	1,094.17	1,781.65	700	218.35	豊 田 西	52	3,000.00	8,060.18	1,500	259.82
長 野	71	1,966.60	7,776.69	1,000	33.31	津 島	69	714.94	16,859.51	2,500	1,080.49
長 野 東	67		3,844.96	800	2,185.04	上 田	63	1,935.99	6,047.34	900	252.66
名 古 屋	220	5,281.98	62,732.87	2,800	1,067.13						
名古屋空港	63	3,583.48	13,206.98	2,000	23.02	計	4561	167,120.30	911,925.08		

「英文ロータリーの友」購入のお礼

ロータリーの友、英語版、について、年度ははじめからクラブ会員数の一割を目標にお買上げをお願いしたところ、この1年間に別表の通り多数のお買上げを頂きました。お蔭様で当地区は全地区の中で断然トップであります。これもひとえに会長、幹事さんのご努力と会員皆様のご協力の賜物と心から厚くお礼申し上げます。どうか今後共引き続き絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第260区 1976～77年度ロータリーの友英語版申込数集計

(会員数は51年6月30日現在)

クラブ名	会員数	申込口数	クラブ名	会員数	申込口数	クラブ名	会員数	申込口数	クラブ名	会員数	申込口数
あ ま	69	7	刈 谷	67	5	名 古 屋 北	98	5	瀬 戸	72	6
安 城	61	1	軽 井 沢	37	2	名古屋空港	65	6	新 城	45	5
渥 美	44	5	春 日 井	74	2	名古屋南	104	37	諏 訪	57	5
尾 西	42	3	木 曾	43	4	名古屋港	104	5	田 原	48	4
富 士 見	30	1	駒 ケ 根	63	5	名古屋守山	75	7	高 浜	41	4
蒲 郡	71	5	小 牧	53	3	名古屋中	74	10	辰 野	43	7
白 馬	31	0	小 諸	51	2	名古屋西	125	15	戸 倉 上 山 田	32	3
半 田	66	7	江 南	59	6	名古屋東南	76	8	東 海	48	5
碧 南	67	7	丸 子	35	0	名古屋和合	55	5	常 滑	52	6
東 知 多	41	4	松 川	36	4	中 野	41	2	豊 橋	102	60
一 宮 北	88	15	松 本	77	19	西 春 日 井	56	5	豊 橋 北	92	9
一 宮 南	71	7	松 本 南	78	8	西 尾	67	2	豊 橋 南	53	5
飯 田 田	69	1	松 本 西 南	37	3	岡 谷	55	5	豊 川	63	5
飯 田 南	60	12	南 佐 久	26	0	岡 崎	77	0	豊 田	87	8
飯 島	30	3	箕 輪	24	2	岡 崎 東	40	5	豊 田 西	53	5
伊 那	67	5	長 野	76	8	岡 崎 南	60	0	津 島	70	5
稲 沢	52	5	長 野 東	66	7	奥 三 河	37	5	上 田	63	5
犬 山	67	0	名 古 屋	209	20	大 町	61	5	第360地区カバナー事務所	20	
一 色	52	5	名古屋東	85	6	尾 張 旭	44	2	計	4,609	495

米山記念奨学会へ特別寄附

6月分特別寄附報告

6月1日	一宮北ロータリークラブ	73,000
4日	江口光吉君(小牧)	150,000
8日	千賀武弥君(岡崎南)	10,000
8日	豊橋北ロータリークラブ	145,000
10日	東知多ロータリークラブ	9,687
15日	一宮ロータリークラブ	50,000
15日	名古屋北ロータリークラブ	197,000
17日	大町ロータリークラブ	100,000
18日	豊橋南ロータリークラブ	87,500
21日	名古屋港ロータリークラブ	108,000
22日	尾張旭ロータリークラブ	30,000
22日	碧南ロータリークラブ	62,000
30日	川口喜代枝君(名古屋北)	300,000

弔告

恒川 算二君(名古屋南RC)	54才
6月9日逝去(株)三五社長	
杉本 源之丞君(岡崎RC)	88才
シニア 6月21日逝去 三河硅石(株)会長	

ガバナー事務所閉鎖ごあいさつ

R1 第360地区ガバナー事務所は、昨年3月25日藤原ガバナー・ノミニー事務所として開設され、7月1日から引続きガバナー事務所として皆様の暖かいご支援を頂いて参りましたが、いよいよ本日をもってその任を終ります。

1年有余にわたり皆様からお寄せ頂きましたご協力とご友情に対し心から厚くお礼申し上げます。その間充分に皆様のお役に立たず、また何かとご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。なお、残務整理をいたし7月31日㊦をもって事務所を閉鎖いたします。本当に永い間ありがとうございました。

国際ロータリー第360地区

地区幹事 三井 章 義
事務所職員一同



1976~77年度 第360地区 RC 会員増強平均出席率順位

順位	クラブ名	会 員 数		増 減	平 均 出席率
		76年 6月末	77年 6月末		
1	松本南	78	79	+1	100
1	駒ヶ根	63	62	-1	100
1	飯田南	60	61	+1	100
1	名古屋合	55	58	+3	100
1	辰野	43	45	+2	100
1	飯島	30	33	+3	100
1	箕輪	24	24		100
8	軽井沢	37	36	-1	99.83
9	名古屋北	98	100	+2	99.69
10	豊田西	53	55	+2	99.64
11	岡崎東	40	51	+11	99.53
12	犬山	67	64	-3	99.52
13	豊橋北	92	95	+3	99.51
14	岡谷	55	60	+5	99.50
15	名古屋港	104	110	+6	99.47
16	一宮北	71	78	+7	99.39
17	名古屋空	65	62	-3	99.36
18	春日井	74	69	-5	99.00
18	岡崎南	60	63	+3	99.00
20	尾張旭	44	43	-1	98.87
21	瀬戸	72	70	-2	98.76
22	刈谷	67	73	+6	98.85
23	豊田	87	83	-4	98.81
23	あま	69	72	+3	98.81
25	名古屋中	74	77	+3	98.71
26	飯田	69	69		98.70
27	伊那	67	68	+1	98.67
28	津島	70	73	+3	98.63
29	名古屋東	76	75	-1	98.62
30	岡崎南	77	79	+2	98.58
31	碧南	67	68	+1	98.55
32	豊橋南	53	56	+3	98.44
33	名古屋東	85	86	+1	98.38
34	西尾	67	69	+2	98.35
35	名古屋南	104	107	+3	98.23
36	松本	77	77		98.16
37	名古屋守山	75	78	+3	98.04
38	一宮	88	87	-1	97.95
39	西春日井	56	66	+10	97.70
40	豊橋	102	103	+1	97.64
41	松本西	37	46	+9	97.52
42	豊南	63	61	-2	97.51
43	稲沢	52	48	-4	97.45
44	江南	59	57	-2	97.33
45	小牧	53	58	+5	97.27
45	名古屋西	125	131	+6	97.27
47	半田	66	69	+3	96.93
48	常滑	52	52		96.81
49	安城	61	63	+2	96.70
50	田原	48	50	+2	96.69
51	東海	48	44	-4	96.63
52	奥三河	37	50	+13	96.43
53	長野	76	75	-1	96.17
54	松川	36	38	+2	96.08
55	蒲郡	71	72	+1	95.63
56	長野東	66	68	+2	95.34
57	東知多	41	42	+1	95.33
58	小諸	51	54	+3	95.31
59	大町	61	63	+2	95.30
60	尾西	42	47	+5	95.07
61	新城	45	47	+2	94.25
62	上田	63	64	+1	94.11
63	一色	52	49	-3	94.06
64	名古屋野	209	218	+9	94.02
65	中野	41	47	+6	93.68
66	高浜	41	45	+4	93.57
67	白馬	31	29	-2	93.03
68	戸倉上山田	32	34	+2	92.66
69	諏訪	57	59	+2	92.55
70	渥美	44	45	+1	91.16
71	富見	30	29	-1	89.01
72	南佐久	26	29	+3	88.45
73	丸	35	37	+2	88.14
74	木曾	43	42	-1	85.07
	地区計	4,609	4,746	+ 137 (+2.97%)	96.94

シカゴ エバンストン ボカラトーン

(CHICAGO ↔ EVANSTON ↔ BOCA RATON)

ロータリー源流

人類原始の時代、人間の生存の条件の一つとして友愛の精神が芽ばえはじめて以来、人類が近代に至ってロータリーが誕生するまでには、何万年かが必要であった。そしてその間、先哲の幾多の思想が歴史を大きく動かしながらより集って大河となり、シカゴの一市民ポール・ハリスの心の中にも激しく注ぎこまれたのである。彼の心の大きな思想のダムはなみなみと水をたたえて、その深みを一層ましていったのではあるが、その水面にシカゴの現実の影は大きくしかも黒々と映していた。それはあたかも人類の苦悩の象徴でもあったかのように。

1905年、ロータリーの種子はいつしか一つの形となって誕生してその根をおろし、茎を伸ばし、ロータリーの諸理想は幾つかの葉となって分かれ成長していった。ポール・ハリスとその思想は、かくてロータリーに不滅の生命を与えたのである。

このR.I.シリーズを終わるにあたり、ポール・ハリスに凝縮された先哲の言葉を「ロータリーの理想と友愛」の中から引きだしてみたい。

「おだやかに貴方の兄弟をよく見てみなさい そして貴方の姉妹をも 彼等にはいろいろと悪い所があるかも知れない それをいちいちとがめないのが人間らしさと言うものだ」 ロバート・バーンズ
——1759～1796 スコットランドの詩人——

「この世の中で笑いと友人の愛ほど価値のあるものはない」 ヒレーレ・ベロック ——1870～1963
イギリスの作家——

「人格の人におけるは 花における匂いの如し」
チャールズ M・シュワップ——成功の十戒より——

「アイルランドの哲学者が言ったように 一人の人間は他の人間と同じように善いところをもってい

る あるいはもっとはるかに善いところをもっているかも知れない」 サッカレー ——1811～1863
英国の代表的作家——

「一生懸命誠実にひとつの事を成しとげようとする努力 それはこの世の初めから人間をとりまく あらゆる病いや苦悩に対する偉大な療法である」
トーマス・カーライル ——1795～1881 スコットランドの随筆家、歴史家——

「労力なき生活は罪である 芸術なき労働は野蛮である」 ジョン・ラスキン ——1819～1900 イギリスの美術及び社会批評家——

「近年世界各国は戦争のために 膨大な借りを作るはめとなった 教育のために大きな借りを作った国はない 多分戦争と文明の両方の支払いが同時にできるほど豊かな国はないだろう 我々はそのどちらかを選ばねばならない 二つを同時にすることはできないのだから」

アブラハム・フレックスナー ——1866～1959
イギリスの教育家 医学教育制度整備の功労者として著名——

「思想の世界的交換は 唯一の世界救済手段である」
トーマス・ハーディー ——1840～1928 イギリスの小説家 詩人——

「一つの国際旅行連盟は四十の国際政治連盟に匹敵する」 アーノルド・ベネット ——1867～1931
イギリスの小説家——

「他人が自分を視るように 自分自身を視る能力が与えられるように」 ——出典不明——

「彼は私をしめだす輪を描いた　しかし愛と私はそ
れに打ち勝つウィットをもっていた　我々は彼を
とじ込める輪をかいたのだ」　エドウィン・マ
ーカム

「地上にくまなく平和が訪れた時　古代の香気がそ
の匂いを発散し　全世界は詩人の歌を歓迎する　い
ま天使が歌っているその歌を」　エドモンド・ハ
ミルトン

80万のロータリー

ロバート・バーンズのもう一つの詩がある。

「どんな事が起ろうとも　まづ祈ろうではないか
善意が実を結ぶよう　そして全世界の一人一人が兄
弟のようにになるように」

ポール・ハリスはこれを引用して

「彼の魂からは生命の泉がとうとうと湧き出たので
あり　この章句は永遠に讃美されるものであろう
そして　この数語の中に先達の哲学の全部　希望の
全部　すべての祈念の根底が発見されるのである」
と「ロータリーの理想と友愛」の中で述べているが、
この詩の精神はポール・ハリスによって「I W I
L L」のシカゴ魂と融合されて、今日まで脈々とし
てロータリーを貫いてきている。それこそ「友好と
奉仕」としてであり、R I 会長が年毎に掲げるテー
マとしてである。

本年ジャック・デービス会長はメッセージの中で

「万人のために健康と尊厳と考え方の自由とを確保
すべく行動しようではありませんか」と呼びかけ、
一言で　「全人類を結びつけるために奉仕しよう」
と訴えている。昨年マンチェスターⅡ会長も「人間
のすべてが、健康と尊厳と自由な精神を確保すると
いう一つの目的に、この世界の人々が結ばれること
を、ロータリーは天命としている」と強調したので
ある。二年連続して掲げられた意味は、世界の現実
から充分納得がいくものである。

この「万人のために健康、尊厳、考え方の自由を
確保」するべく、今こそ我々ロータリアンは手を結
んで挑戦しようではないか。それこそ、バーンズの
精神、ポール・ハリスの願いは歴史を超えて鮮かに
現代に甦り、生々と全世界を包みこみ、全人類を一
つに結びつけることに大きな役割りを果たすることにな
るであろう。



上掲の写真は、152にのぼる国及び地理的地域か
ら集まってきた406人のロータリアンである。そ
れぞれの国情、それぞれの言語、宗教、文化を持ち、
実践の方法もそれぞれ特異であろうが、友好を旨と
し奉仕を理想とすることにおいては一つに結ばれて

いるロータリアンである。いわば、80万ロータリア
ンの2000分の一の縮図なのである。この中に貴方も、
彼も、そして私自身もいる。ロータリーとはまさに
我々自身なのである。

藤原正男

国際ロータリー第360地区ガバナー事務所 〒392 諏訪市湖岸通り3丁目2-9 TEL (02665) 8-3609
地区幹事 三井章義(諏訪ロータリークラブ)